

於てビルマ國を獨立國家として承認する旨宣言し、本文に於て  
大東亞戰爭完遂の爲有ゆる協力を爲す旨竝に本條約は署名の日  
より實施する旨規定せられた  
(六三四三)  
特命全權 高橋 陸軍 少將 三 氏 はビルマ國駐劄を仰付られた  
(六二七七)

六三四五 中華民國政府ビルマ國を承認 國民政府はビルマ國を

承認した

六三四六 林森重慶政權主席死去 重慶政權主席林森は死去した

六三四七 蔣介石主席代理就任 曩に召集せられた中央委員緊急

會議に於る採譯案に基き、行政院長蔣介石は主席後繼者の決定  
を見るまで主席代理と爲ることに決定した旨發表した  
(六三四六)

六三四八 上海共同租界返還式舉行 上海共同租界返還式が舉行  
せられた  
(六〇〇〇)

八月二日 月曜日

(1185)

六三四九 ベラ灣附近に於る敵水雷艇攻撃 コロンバンガラ島西

方ベラ Vera 灣附近に於て我水雷戦隊所屬驅逐艦は敵水雷艇三  
隻と遭遇、其の一隻を高速を以て乗切りこれを沈没せしめた

六三五〇 米軍七月中の太平洋に於る損害 西南太平洋反樞軸軍  
司令部は、米軍は七月中に太平洋に於て巡洋艦一隻驅逐艦二隻  
を沈没せしめられ飛行機百二十機を喪失したる旨發表した

六三五一 米空軍プロエス子油田爆撃 ルーマニア政府發表に依  
れば米機百二十五機はプロエス子油田を爆撃したが獨ルーマニ

ア兩軍の地上砲火に依り三十六機が撃墜せられ飛行士六十六名  
が俘虜となつた。爆撃の結果死者百十六名負傷者百四十七名を  
出した (六一二五)

六三五二 英空軍ハンブルグ其の他を爆撃 獨軍當局の發表に依  
れば英空軍は夜ハンブルグ其の他獨沿岸數都市を爆撃、又白晝  
西歐占領地區及びノールウエー水域を爆撃した(六三五一)  
英空軍省發表に依れば英空軍は本日のハンブルグ其の他西歐地

區爆撃に於て二十二機を喪失した (六一二五)

六三五三 米昨年度歳出入実績 リスボン發同盟電に依れば口大

統領はこの程一九四二一四三合計年度に於る歳出入実績を左の通り發表した(單位億弗)

歳出	八〇〇	七三一・四一
歳入	二二〇	一六九・一八
差引不足	五八〇	五六二・二三

実績 豫算(昨年四月改訂)  
(チ加ヘシモ)

六三五四 英緊急閣議開催 英政府は夜緊急閣議を開催、伊太利

問題につき協議した (六三一四)

六三五五 伊緊急會議開催 伊國に於てはエマヌエーレ三世陛下、

皇太子ウンベルト殿下、パドリオ元帥及びグアリリア外相出席

六三五六 法王廳駐劄伊代理大使 法王廳駐劄伊大使館參事官バ

プスチオ・リッツオ氏は伊代理大使に任命せられた (六二八三)

(六三二三)

六三三七 佛解放委員會重慶駐劄代表任命 佛解放委員會は重慶

駐劄代表としてコワフアンを任命した

(六三二四)

六三五八 泰國ビルマ國を承認 ビアン泰國首相は外相代理の資格に於てビルマ國獨立を承認する旨返電を發した(六三四五)

六三五九 滿洲國ビルマ國を承認 滿洲國政府はビルマ國を承認するに決し右の旨李外交部大臣よりタキン・ヌー外務大臣宛電報を發した

(六三五八)

六三六〇 統制會社に關する勅令案要綱決定 第二十七回國家總動員審議會が開催せられ諮問第九十五號統制會社に關する勅令案要綱を付議可決の上答申した

(六〇〇三)

◎五月三十一日所收「五七〇八 重慶政權主席死去」の項は誤報の模様につき取消

戦争關係重要事項日誌 第三十二號  
昭和十八年八月三日―九日

(118)

七月三十日 金曜日

補遺 六三六一 ポース氏ビルマ訪問 スバス・チャンドラ・ポース氏は二十九日蘭貢

到着本日同地に於る印度獨立完遂民衆大會に出席演説を行つた (六〇五〇)

七月三十一日 土曜日

補遺 六三六二 海南島に於る綜合戦果 海南島所在帝國海軍部隊は七月中に殘存敵艦

を掃蕩左の綜合戦果を擧げた (六〇九二)

一、遺棄死體 五百三十一 二、投降者 七百十三

一、鹵獲品小銃 三百四十三挺 其他

補遺 六三六三 伯國商船撃沈 フラジル最大の商船バーゲ *Barque* 號 (八二三五噸)

は同國南部に向ひ航行中セルジペ州リオ・レアル *Rio Real* 沖合に於て雷撃を  
受け沈没した

補遺 六三六四 對伊問題に關する英外相の言明 イーデン英外相は下院に於て英政府  
は直接伊政府に和平問題に關し何等條件を提出した事實なき旨言明した (六三五四)

一、フーノク、

八月一日 日曜日

補遺

六三六五

ジャワ中央参議院及び参議會設置に關する最高指揮官聲明

原田最高

指揮官はジャワ住民政治參與許容に關する當面緊要の具體的措置實施の概要を

次の通り放送した

(六三四一)

第一 軍政部内に設置せらるべき諮問機關に人格識見優秀なる現地住民を選抜する

(イ) 中央に中央参議院を設置し軍政諸施策に關し建議答申を求め

(ロ) 各州(特別市を含む)に参議會を置き地方政務に關する建議答申を求め

第二 軍政諸行政機關に有能有爲の原住民を簡拔登用し軍政施行の重要地位に就かしめる

(イ) 中央軍政監部に參與の制度を設け重要施策の審議等に關し現地住民の優秀なる知識經驗を直接參畫せしめる

(ロ) 地方に於ては州廳其他軍政諸機關の樞要なる地位に原住民を登用し軍政施行に任せしめる

補遺

六三六六

ハノイ、ラオス間航空路再開

佛航空會社エール・フランスはハノイ、

ラオス間空路を再開した。右は毎月二回就航する

× × × × × × × ×

八月三日 火曜日

六三六七 樞軸軍七月中の地中海に於る綜合戦果 伊軍司令部は  
樞軸海空軍七月中の地中海に於る綜合戦果を次の通り發表した  
(六三三〇)

一、巡洋艦二隻 驅逐艦八隻 潜水艦三隻

輕艦艇三隻撃沈 輕艦艇一隻大破 巡洋艦十八隻 驅逐艦五隻

一、商船四十六隻撃沈 輕艦艇 一、商船四十六隻撃沈 此の中二十六隻の總噸數は二十萬七千

總噸他の二十隻は噸數を確認し得ず 一、商船百十五隻大破 此の中三十三隻の總噸數は十八萬總噸

六三六八 一、飛行機六百四十二機撃墜 一、飛行機六百四十二機撃墜 紙は口大統領の對伊休戰條件を左

六三六八 一、飛行機六百四十二機撃墜 紙は口大統領の對伊休戰條件を左  
デイ・ローマ Popolo di Roma 紙は口大統領の對伊休戰條件を左  
の通り報道した (六三六四)

一、一、一、一、

一、伊陸海空軍の抗戰停止

一、伊政府の同國駐屯獨軍との協力停止

一、ユーゴスラヴィア、ギリシヤ、アルバニア及びフランスよりの伊軍撤收

一、軍需資材を無傷の儘反樞軸軍へ引渡すこと

一、戰爭終結迄米英ソ三國の伊國に於る軍政施行の承認

一、所謂戰爭責任者の逮捕

一、伊本國に在る反樞軸軍俘虜の釋放

六三六九 重光外相伊外相に返電 重光外相はグアリリア伊外相

に對し日伊兩國は三國同盟を基礎とする協力に依り今次戰爭の最後の勝利に邁進する決意を有する旨返電を發した

(六三三七)

六三七〇 米商船擊沈 米海軍省は米商船一隻が七月南太平洋に

(六二一二)

於て魚雷攻撃を受け沈没した旨發表した 英駐屯米軍司令部は最近

六三七一 歐洲方面米軍參謀次長任命 迄米陸軍機甲部隊參謀長であつた准將デーヴィッド・チー・バ

ールを歐洲方面米軍參謀次長に任命した旨發表した

(六一八〇)



六三七二 ブラジル陸軍一部海外派遣  
ブラジル陸相ドウトラ

Enrico G. Dutra はブラジルが目下陸軍の動員を行つて居り軍の

六三七三 米商船二百隻を英に貸與  
チヤール英首相は下院に

於て米は向ふ十箇月間戦時使用の爲め商船二百隻を英に貸與す  
るこゝとなつた旨の口大統領よりの書翰を朗讀した  
（五二四〇）

六三七四 米徴兵範圍擴大方針  
米戦時人的資源局長官マクナツ

トは十八歳以上三十七歳迄の男子で一九四二年九月十五日以前  
に出生した子を持つ者を軍に召集する爲め目下徴兵局を通じ人  
員調査が進められて居る旨發表した  
（六一〇九）

六三七五 米七月中の戦費  
米財務省は七月中の戦費が六月に比  
し六億弗減少した旨發表した。米戦費は同國の参戦以來月を逐  
ふて増嵩して居り前月に比して減少したことは始めてである  
（六一三二）

六三七六 米船舶關係超過利潤除去  
米海事委員會は過去十四箇  
月に亘る再交渉の結果三十五億五千五百七十四千弗に上る超  
過利潤を戦時契約から除去した旨發表した。右の中十五億二千

三百七十四萬八千弗は事實上政府に依り回收せられ殘餘二十億  
三千百四十二萬六千弗は製品引渡しの際に於る價格減少に充當  
せられる (六二七九)

六三七七 米労働日取止め 米戦時生産局長官ネルソンは全米の  
労働者に對し米の軍需生産は過般の罷業に因り損失を蒙り一日  
たりとも生産を休止することの出來ぬ現状にある、依て本年九  
月六日の労働日を取止め戦時生産に邁進せられんことを希望す  
る旨要請した (六二二一)

六三七八 亞國商船紐育迄航路延長 アルゼンチン政府は同國商  
船のニュー・オルリーズ New Orleans 向航路を今後紐育迄延長  
し得る旨の法令を公布した  
六三七九 伊スイス鐵道連絡杜絶 伊スイス間の鐵道連絡は本日  
以降殆ど杜絶した (六二八三)

六三八〇 駐華獨大使着任 中華民國駐劄獨大使ウエルマン氏は  
南京に着任した (六二六五)

六三八一 米戦時生産局次長演說 米戦時生産局次長ウイルソン  
は紐育商工聯合會席上演說を行ひ過去三箇月間の

Charles Wilson

米産業界は豫定通りの生産を爲し得なかつた爲め本年度の生産  
目標を達成するには下半年期に更に三〇%方の増産を行はねばな  
らぬ旨述べた (五九一七)

六三八二 米對亞國輸出許可取消 米經濟戰爭局は全米一萬六  
千の貿易業者に對し本年一月五日以降發行せられたアルゼンチ  
ン向米商品の輸出許可を取消す旨通達した (六二五八)

六三八三 泰國外相入京 ウイチット Wicht Wicht Wathaken 泰國  
外相は空路入京した (三一〇八)

八月四日 水曜日

六三八四 ムンダ上空に於る空中戦 大本營發表に依れば我海軍

航空部隊はムンダ上空に於て敵戦闘機約七十機と交戦其の二十

五機を撃墜した。我方の損害は四機であつた(六三二八)

六三八五 マンシュタイン獨元帥ミユース河戦線獨軍指揮 獨總

統大本營はミユース河戦線の獨軍がフォン・マンシュタイン元

帥の指揮下にある旨發表した (六二八九)

六三八六 英政府太平洋會議開催 英首相官邸に於て太平洋會議

が開催せられ英陸海空三軍代表 オランダ亡命政權首相 重慶

六三八七 伊軍首腦部人事 伊エマヌエル三世はアンブロッシ

オ Ambrosio 元帥を參謀總長に任命し又海相コーテン提督に軍令

部總長、空相サンダリーリ將軍に空軍參謀總長兼任を命じた

(六三五六)

六三八八 伊國新作戦地域指定 伊政府はルビアナ、フィウメ

Fiume 及びダルマチア Dalmatia を作戦區域に指定する旨布告し

た (六二八八)

六三八九 ゴロヴェノフ航空兵元帥に進級  
ソ聯政府はゴロヴェノフ航空兵大將が航空兵元帥に進級した旨發表した

(五三八八)

六三九〇 米七月中の造船実績 米海事委員會は全米の造船所は七月中に船舶百五十八隻百六十七萬七百重量噸の建造を行つた旨發表した。本年一月以降七月末に至る建造高は一千九百四十三隻千四十八萬五千五百噸なる

(六〇二八)

六三九一 米政府軍需關係投資 米戰時生産局は一九四〇年七月から一九四三年三月迄の三十三箇月間に政府は軍需工場設立及び裝備の爲め總額百九十四億弗の投資を行つた旨發表した

(六三八一)

六三九二 米料理店其の他に對する制限 米人的資源委員會委員長マクナットはナイト・クラブ高級料理店其の他娛樂地附近に於る料理店の使用人増加を禁止し又特別の宴會用料理を廢止する旨發表した

(四五〇〇)

六三九三 伊教科書改訂 伊内閣は國內各學校の教科書中よりフアシスト黨の宣傳事項を削除するに決定した(六二八三)

六三九四 ポース氏ビブン泰國首相會見

ポース氏は泰國を訪問

ビブン泰國首相と會見した

(六三六一)

六三九五 重光外相獨伊大使と個別會見

スターマー獨大使は午

前重光外相を訪問會談を遂げ(六三〇六)又インデルリ伊大使は午後同外相を訪問會談を行つた

(六二八五)

八月五日 木曜日

六三九六 我水上機ニューチョーチア島西部爆撃 我海軍水上機

隊はニューチョーチア島西北部ライスRice灣エノガイ Enogai 灣及びルビアナ島敵陣地を爆撃し全機歸還した(六三八四)

六三九七 敵機ニューギニア島に來襲 敵機二十八機がニューギ

ニア島北方マندان Mandan に來襲したが我地上砲火に依り三機を撃墜せられ米人中隊長コックス Cox 少佐以下將校三名下士官一名が俘虜となつた

(六三八四)

六三九八 樞軸海軍の黒海に於る戦果 獨軍當局は黒海水域に於て樞軸艦隊が作戦開始以來今日迄の撃沈數を次の通り發表した

(六一七八)

一、獨海軍の戦果

商船十萬八千四百噸

水雷艇四隻

砲艦一

隻 潜水艦一隻

護衛艦一隻

哨戒艇三隻

武装哨戒船二隻

一、伊海軍の戦果

驅逐艦一隻

潜水艦四隻

哨戒艇一隻

上

陸用舟艇二隻

一、ルーマニア海軍の戦果

水雷艇一隻

潜水艦一隻

六三九 米陸軍航空部隊參謀長訪印

米陸軍省は陸軍航空部隊

參謀長チヨイチ・ストラットメイヤー

George Stratmeyer

(前號

「六二七五」にストリート・メイヤーとあるは誤りが印度へ

(六二七五)

六四〇 北阿反樞軸軍司令部モールタ島移轉

北アフリカ反樞

軸軍總司令官アイゼンハワールの發表に依れば英第一軍司令官アレキサンダー地中海水域反樞軸海軍司令官カニンガム米第七軍司令官バットン地中海水域反樞軸空軍司令官テツダーは三日よりモールタ島に於て作戰機務を開始アイゼンハワーも同島に移轉した

(六三二九)

六四〇一 樞軸軍カタニア撤收

獨軍はシチリア島東部要衝カタ

ニア地區を撤收した

(六三二九)

六四〇二 獨軍オリヨール撤退 獨軍當局は獨軍が伸縮作戰の見

地よりオリヨール市内軍事施設を破壊又は移動せしめた上同市  
より撤退した旨發表した (六二八七)

六四〇三 米軍需生産狀況 米戰時生産局長官ネルソンは軍需生産  
の現状に就き次の如く發表した (六三九一)

一、軍需生産施設擴張事業への融資は總額百九十二億四千萬弗に  
て其の内譯は政府側百四十五億八千二百萬弗民間側四十七億  
五千萬弗である

一、軍需生産擴張計畫は最近に至り進捗を見 初期の立遅れを恢  
復して居る。例へば人造設謨工場は本年六月末に六一%進捗  
しオクタン價一〇〇%ガソリン精製工場も同日迄に三九%鐵  
及鋼鐵工場並に化學工業關係工場は現在夫々七五%及九〇%  
が進捗した

一、米國の資源は益々直接軍需生産及び軍需資材生産設備に振向  
けられるから民需生産は減退しよう

六四〇四 米軍醫召集發表 米軍醫聯盟は米軍は一九四四年一月  
一日迄に六千名の軍醫を必要とする爲め男子醫師にして十八歳



より四十五歳迄の者は軍隊に召集せらるる旨發表した

(五八五〇)

(1200)

六四〇五 紐育市に於る黑人暴動 紐育市黒人居住區域ハイレム  
に一日夜より黑人暴動が勃發したが警察當局及び州當局の鎮壓  
により平靜に歸した (五九二七)

六四〇六 ヴァンクーヴァー市に於る騷擾 ヴァンクーヴァー  
Vancouver 市に於て市民と兵士の間に亂闘事件が勃發ワシント  
ン州兵が出勤して警戒に當つてゐる (六四〇五)

六四〇七 伊法制改革決定 伊政府は閣議に於て現行伊民法及び  
刑法中の條項にて伊國民本來の精神的竝に法律的傳統と相容れ  
ぬ條項を削除する旨決定した (六三九三)

六四〇八 獨スエーデン軍事協定廢棄 スウエーデン外務省は獨  
軍部隊の同國領域通過に關する獨スウエーデン協定を廢棄する  
旨發表した (六一五三)

六四〇九 獨ビルマ國承認 リツベントロツプ獨外相はビルマ國  
外相宛電報を以て獨がビルマ國を承認する旨通告を行つた  
(六三五九)

六四一〇 駐華獨大使信任狀捧呈 中華民國駐筭獨大使ウエルマ

ン博士は汪主席に信任狀を捧呈した (六三八〇)

六四一一 綿スフ紡績業整備要領 商工省は企業整備方針に基く

綿スフ紡績業整備要領を綿スフ統制會々長宛通牒した

(六三〇九)

八月六日 金曜日

六四一ニ ソロモン群島方面に於る戦果

大本營より次の通り發

表せられた

一、帝國海軍驅逐隊はコロバンガラ島の西方海面に於て飛行機並に魚雷艇と協同せる敵水雷戦隊と交戦し驅逐艦一隻を撃沈した。右戦艦に於て我方も亦驅逐艦一隻沈没他の一隻が大破した (六三九九)

二、帝國海軍戰闘機隊はシヨートランド島に來襲せる敵戰闘機十六機を邀撃し其の十五機を撃墜した。右空戦に於る我方の損害は一機である (六三九七)

三、帝國海軍航空部隊はレンドバ港を攻撃し左の戦果を得た (六二一二)

撃沈 中型輸送船二隻 小型輸送船二隻 上陸用舟艇約八隻  
撃破 中型輸送船一隻 海上トラック一隻  
撃墜 戰闘機五機以上  
右攻撃に際し我方の未歸還機は一機である

六四一三 敵機イサベル島我陣地に來襲 敵機計百二十七機が編

隊を以て來襲したが我地上部隊は其の八機を撃墜これを撃退し  
た (六三九七)

六四一四 獨シリング大將戰死 獨軍當局はバヴァリア戰車師團  
長ウオルター・シリング大將が東部戰線に於て戰死した旨發表  
した (四六六一)

六四一五 ヲアンダーグリフト西南太平洋反樞軸軍司令部赴任  
プエノスアイレス發同盟電に依れば米陸軍中將アレキサン

ダー・ヴァンダーグリフトは米第一陸海兩用部隊司令官として  
この程西南太平洋反樞軸軍司令部に赴任した(六三一)

六四一六 濠エクスマスに潜水艦基地設置 濠首相カーチンはメ  
ルポーンに於る選舉演説中に日本の宣戰後濠洲政府は西岸エ

クスマスに潜水艦基地を建設した旨述べた

六四一七 米造船狀況 米政府當局は本年一月以降七箇月間に米  
に於て一千四十六隻一千五十万噸が建造せられた旨發表した  
(六三九〇)

六四一八 ダルマチア地區に軍政 伊政府は舊ユーゴスラヴィア  
領ダルマチア地區の總督制を廢止しザラ、スバラト及カツタロ

三縣が伊第十八軍の軍政下に入るこごとなつた旨發表した

(六三八八)

(1204)

六四一九 フアシスト黨資金凍結 伊政府は國內各銀行に於るフ  
アシスト黨の資金を凍結するに決した (六四〇七)  
六四二〇 モスクワ深夜外出禁止解除 ソ聯當局は一九四一年秋  
以來モスクワに施行せられてゐた深夜外出禁止令を解除した  
(六四〇二)

六四二一 瑞典芬蘭通商協定調印 スウエーデン外相ギユンタ  
ー氏は今年度下半期に於るスウエーデン、フィンランド間物  
資交易に關する新通商協定が調印せられた旨發表した  
(四七七九)

六四二二 印度に於る洪水被害者 印度政廳當局はニューデリー  
西南アムジャヤ地区に於る最近の洪水の爲め死者六千を出した  
旨發表した

六四二三 日佛印通信協定調印 西貢及昭南竝に南洋に於る占領  
地間の片假名電信業務に關する協定が西貢に於て調印せられた

(四九九六)

六四二四 スロヴァキア、ビルマ國承認  
スロヴァキア政府はビ  
ルマ國を承認した  
(六四〇九)

八月七日 土曜日

六四二五 敵貨物船撃沈 西南太平洋反樞軸軍司令部は貨物船一  
隻がアラフラ海に於て日本航空部隊の爲め撃沈せられた旨發表  
した (六三七〇)

六四二六 獨空軍七月中の大西洋に於る戦果 獨軍當局は獨爆撃  
が七月中に大西洋に於て敵護送船団を攻撃貨物船七隻七万三千  
噸を撃沈他の七隻四万九千噸に損害を與へた旨發表した  
(六三三〇)

六四二七 獨ツオルン將軍戦死 獨軍司令部はオリョール附近の  
戦鬪に於て獨軍司令官ツオルン將軍が戦死した旨發表した  
(六四一四)

六四二八 米七月中の飛行機生産状況 米戦時生産局長官ネルソ  
ンは七月中の飛行機生産總數は七千三百七十三機の新記録を示  
し前月に比し四%増この中重爆撃機は前月に比し一三%の増

加こなつたが尙豫定計畫に達しなかつた旨發表した (六三二二)

六四二九 米油槽船建造状況 米海事委員會は米造船所は本年一月以降七箇月間に昨一箇年間の全建造隻數より四%方多く建造した旨發表した (六四一七)

六四三〇 駐米英大使歸國決定 駐米英大使ハリファックスは近く倫敦に赴く旨發表せられた (三三四〇)

六四三一 ミラノ深夜外出禁止 ミラノ Milano 地方陸軍司令官は市民に對し午後十時三十分以後の外出を禁止し市内の全料理店カフエー及び集會場其の他の娛樂機關は午後十時迄に閉店する様布告を發した (六四一八)

六四三二 比島獨立準備全員委員會 比島獨立準備委員會はラウレル委員長外十八委員出席の下に全員委員會を開催立法司法及行政三分科委員會に於て審議せられた原案を承認した (五九一九)

六四三三 ウイチット泰國外相參内 ウイチット泰國外相は參内天皇陛下に謁見仰付られた (六三八三)

六四三三 ウイチット泰國外相參内

六四三三 ウイチット泰國外相參内

六四三三 ウイチット泰國外相參内

八月八日 日曜日

六四三四 樞軸軍エトナ嶽地帯撤退

樞軸軍はシチリア島エトナ

山嶽地帯を撤退した

(六四〇一)

六四三五 シチリア島北部に反樞軸軍上陸

反樞軸軍はサン・ア

ガタ San Agata に増援部隊を上陸せしめ樞軸軍と戦闘に入った

(六四三四)

六四三六 伊全国に戦争状態布告

伊政府は伊全土に戦争状態を

布告した

(六四三一)

六四三七 智国外相亞國訪問

チリ外相ホアキン・フェルナンデ

スはパラグアイ訪問の途次ブエノスアイレスに到着した

(五七八八)

八月九日 月曜日

六四三八 敵機コロンバンガラ島我陣地攻撃

敵機延數二百六十

九機がコロンバンガラ島我陣地に來襲したが我地上砲火に依り

撃退せられた。我方の損害皆無

(六四一一)

六四三九 樞軸軍に因る敵船被害

獨軍當局は次の通り發表した

(六四二六)



一、本年初頭以降七箇月間に日獨伊海空軍は敵商船約八百四十隻  
五百萬噸を撃沈之に約六百六十隻三百三十三萬噸の損害を加ふれ  
ば合計一千五百十八隻八百三十九萬三千噸にて敵側發表に依  
る同期間に於る敵船舶建造數一千四十六隻六百九十萬噸を凌  
駕してゐる

二、同期間に於る獨潛水艦の敵船撃沈狀況を水域別にすれば左の  
如くである

- (イ) 北氷洋水域 十五隻八萬四千三百五十噸
  - (ロ) 地中海水域 五十九隻三十六萬九千三百五十噸
  - (ハ) 大西洋水域 二百四十一隻百五十一萬五千噸
  - (ニ) 西アフリカ水域 五十五隻四十萬一千一百五十噸
  - (ホ) 南アフリカ水域 九隻五萬六千噸
  - (ヘ) 米國近海 六十三隻四十萬九千噸
  - (ト) 印度洋水域 四十四隻二十四萬五千噸
- 合計 四百八十六隻 三百十萬噸

一、獨潛水艦はこの外輸送帆船十三隻を撃沈更に商船七十九隻に  
魚雷を命中せしめて損害を與へた

六四四〇 獨爆撃に因る英死傷者數

ば英經濟雜誌エコノミストは開戦以來獨空軍の英本土爆撃に因る死傷者數を一九四三年六月末迄に十萬八千六百九十五名にして死者四萬九千六百九十名負傷者五百九千五名の内譯さなる旨發表した

リスボン發信同盟電に依れ

(1209)

年次	死者	負傷者
自一九三九年九月 至一九四〇年八月	一、四九四	一、九八〇
自一九四〇年九月 至一九四〇年十二月	二、二八二	二、八五二
自一九四一年一月 至一九四一年十二月	二〇、八六三	一、一八三
自一九四二年一月 至一九四二年十二月	三、二二一	四、一四九
自一九四三年一月 至一九四三年三月	三、二二八	五、〇七
自一九四三年四月 至一九四三年六月	二、五二	三、四七
自一九四三年七月 至一九四三年九月	二、九三	四、三九

一九四三年

四月

一七二

二〇五

五月

五八四

七三三

六月

二〇一

二八四

六四四一 米大統領休暇旅行 口大統領は約一週日以前より暑中休

暇の爲めカナダ領ヒューロン湖北岸に赴いてゐたが本日華府に歸  
着した (六二九一)

六四四二 米戦時情報局長官歸米 米戦時情報局長官エルマー・ヂ  
イヴイスは英より華府に歸着した (六二三七)

六四四三 アラスカ米人八時間労働制中止 口大統領は内務省で雇  
傭しアラスカに於て公共事業に従事中の労働者及び技術者に對す

る八時間労働制を中止する旨の大統領令を公布した (四六五六)

六四四四 ファシスト學校令廢止 伊文部省は全國教育機關に對し  
一九三九年二月ファシスト大協議會で採用せられた學校令を一切廢

止する旨布告した (六四一九)

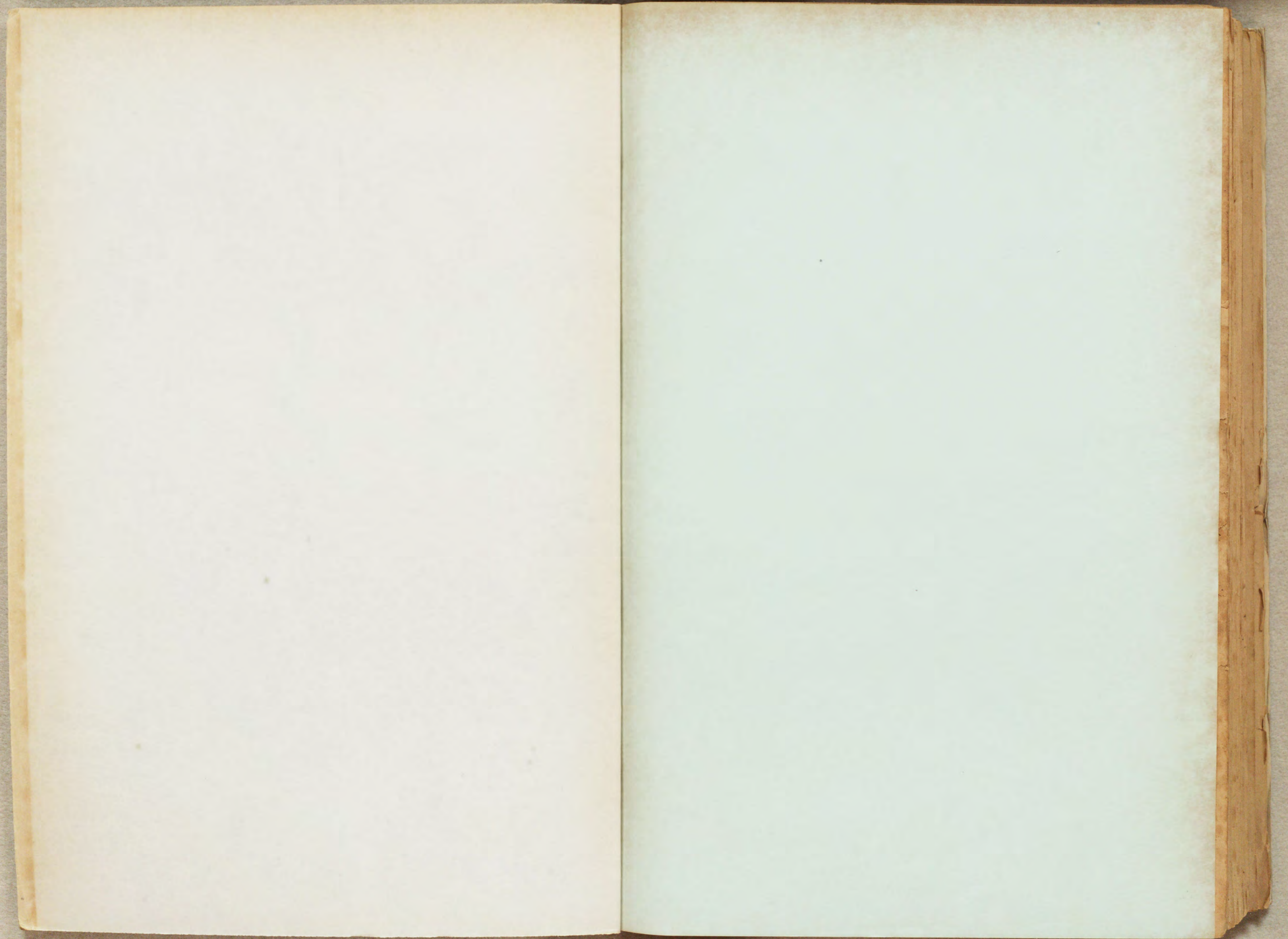
六四四五 澤田大使御信任狀捧呈 澤田駐ビルマ國大使はバー・モウ

ビルマ國代表に御信任狀を捧呈した (六三四四)

六四四六 國民政府綿糸綿布買上暫行條例及び收買綿糸綿布實施要綱  
 實施 上海に於る臨時最高國防會議にて綿糸綿布買上暫行條例  
 及び綿糸綿布買上實施要綱を決定 臨時公布實施した  
 六四四七 印度獨立支援國民運動團體代表者會議 東京に於て翼贊  
 會主催の下に印度獨立支援國民運動團體代表者會議が開催せられ  
 た 一六三九四

◎第二十九號「六一九六 ローマ法王廳國務次官米代理大使會議」の  
 項中「會見抗議した」に「あるを單に」會見した」と訂正  
 ◎第三十一號「六三三八 ヒンヅ・マハサバ黨總裁辭任」の項は辭  
 表を提出したる儘にて未だ確定せざる模様ニ付訂正





(追加分)

史料目録No. 3/2

調査資料  
朝鮮銀行資料

日誌

戦争関係重要事項

自 昭和十八年四月  
至 同 八月

戦争関係重要事項日誌

金融史資料	
分類記号	IAx
整理番号	22(429)
資料名	田中鉄三郎氏 所蔵資料
保管容器	□108

研30009

通貨、金融史料	
分類	IBa ビソ
整理番号	24/29
受入番号	3612
名称	田中鉄三郎氏 所蔵史料
備考	2/1